

## 市川市立図書館中期計画評価報告書

### 1. 趣旨

この報告書は、平成 23 年度に策定した「市川市立図書館中期計画」の実施結果について、評価・分析を行い今後の図書館計画に反映させ、サービスの向上に資するものである。

### 2. 実施期間

平成 23 年度～平成 25 年度

### 3. 評価方法

3 ヶ年の実施状況(事業の取り組み内容や目標値等の達成状況)に基づき、6 つの柱各々について、4 段階評価(充分達成できた・概ね達成できた・やや不十分だった・不十分だった)を行った。

### 4. 実施結果・評価概要

図書館運営の目標として立てた 6 つの柱の下に掲げた全ての事業に取り組むことができた。

特に「地域の文化を育む図書館」については、特別コレクションの増設や、市民文庫の積極的収集など、市川ならではの地域行政資料の収集や整理を図り、また、ホームページによる情報発信や著作権の切れた地域資料の電子化などに取り組み、目標を充分達成することができた。

「学びを支える図書館」では市民要望を取り入れた検索・予約システムの改善や、データベースのプリントアウトサービス等、市民が資料や情報を入手するための利便性の向上を図り、「情報拠点としての図書館」では地域図書館への I C タグ導入計画の策定及び予算化を進めた。他にも、「子どもの成長を支える図書館」では年齢別の様々なイベントを新たに実施し子どもの読書活動の支援に努めるなど、残り 5 つの柱についても概ね目標を達成することができたことから、中期計画による 3 ヶ年の図書館運営は一定の成果を上げたといえる。

今後の課題として、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしたが、事業によっては数値よりも事業内容の充実度で評価を行う方が適切な評価と次の事業展開に繋がっていくため、後継計画においては数値・取り組み内容・満足度等から、より効果的に検証できる目標の設定を行っていく。

1

学びを支える図書館

身近に図書館が利用できるよう、  
図書館ネットワークの整備

具体的な施策

- ・登録者数の拡大
- ・図書館未設置区域への自動車図書館の巡回
- ・利用者の利便性を高める電算システムの更新

平成23年度～平成25年度の取り組み

イベントのPR／学校訪問で図書館利用の呼びかけ／電算システムの更新／蔵書検索機能の充実／予約連絡メールの再配信／検索結果レシートの改善／蔵書検索システムでの貸出延長等の改善／館内OPACにキーボード設置／行徳図書館に無線LAN環境整備／外部データベースのプリントアウトサービス開始／自動車図書館の運行見直し

評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>平成23年度の図書館電算システム更新では、メール等で寄せられた市民要望を反映させ、誰もが使いやすいように整備を図った。また、物流の効率化を進め、利便性の向上に努めたが、登録者数は減少傾向にある。</p> <p>自動車図書館の利用者数は、運行スケジュールの見直しによって一時増加したが、25年度は伸び悩んだ。今後も各地域の利用状況や人口変動を分析し、関連施設との連携を進める等、図書館未設置地域へのサービスの充実に努めていく。</p>				

2

情報拠点としての図書館

様々な市民の学習要求に  
応えられる、蔵書の収集と維持

ICタグによる蔵書管理

レファレンスサービスの充実

具体的な施策

- ・図書館資料の更新
- ・ビデオからDVDへの移行
- ・それぞれの障害に適した資料の充実
- ・効果的な蔵書管理による、魅力的な棚揃え
- ・案内・回答機能の向上を通じた、市民の調査活動の積極的支援
- ・国立国会図書館主催の「レファレンス研修」及び千葉県教育委員会主催の研修等への、職員の継続的な参加

平成23年度～平成25年度の取り組み

資料の更新／寄贈資料の活用／集密書架設置／行徳図書館へのICタグ導入の予算化／BDSの更新／SDIの配信／新規データベース導入／職員の研修への積極的参加／国立国会図書館レファレンス協同データベースへの事例提供／「新・参考業務月報」発行／市のフェイスブックを通じた積極的なPR

評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>レファレンスサービスについては、職員の積極的な研修参加によってサービスの充実に努めることができ、受付数が順調に伸びた。資料更新冊数については、厳しい予算状況を反映し、3年間にわたり目標値に達しなかったものの、23年度の「住民生活に光をそそぐ交付金」の活用や、寄贈資料の受入れ等によって資料の更新に努めた。ICタグによる蔵書管理についてはこの3年間は進展がなかったが、26年度より行徳図書館の新刊図書へのICタグの導入が始まった。また、平成25年度には中央図書館開館以来、初めて集密書架の設置が実現し、効率的な蔵書管理の面で大きく前進した。引き続き、資料の充実と、市民の調査活動の支援に努めていく。</p>				

3

子どもの成長を  
サポートする図書館

発達に応じた豊かな読書のための  
環境の整備

教育センターや学校図書館  
との連携

具体的な施策

- ・子供の知識欲を満たす資料、蔵書の核となる資料の更新
- ・様々な年齢層に対する読み聞かせの実施
- ・本を選ぶ際に参考になるようなブックリストの作成と配布
- ・新学習指導要領に即した学校ネットワーク用図書 of 更新
- ・中学校向け学級文庫の運用開始と小学校向け学級文庫の更新
- ・学校図書館への調べ学習のための資料貸出

平成 23 年度～平成 25 年度の取り組み

資料の更新／寄贈資料の活用／読み聞かせの会の見直し／子供向け各種イベントの開催／出張お話会（ブックトーク・素話等）開催／学級招待によるお話会実施／小学生向け学級文庫更新／中学生向け及び特別支援学級向け学級文庫開始／幼児向けブックリスト「よんであげたいえほん」改訂／小学生向けブックリスト「本のぼけっと」発行／中学、高校生向け「Young Adult 通信」発行／Young Adult コーナー特集ポスターの募集／「Young Adult 通信」年間キャラクター募集／体験学習受入れ

評価と今後の方向性

評 価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>子どもの利用促進については、地域館も含めた全館での各種イベントの実施や読み聞かせの会の開催、発達に応じたブックリストの作成・配布など、子どもと本を結びつけるための様々なアプローチを行った。学習指導要領改訂に即した資料の更新も積極的に行い、平成 23 年度には国からの交付金の活用により、小学校向け学級文庫を更新し、中学校向け及び特別支援学級向け学級文庫を新たに開始した。「学校図書館支援センター事業」も活発に利用され、成果をあげている。また、Young Adult サービスにおけるポスター作成等の中学生の参加も定着し、応募件数を伸ばしている。今後も、発達に応じたきめ細やかなサービスを提供し、子どもの読書環境の整備に力を入れていく。</p>				

4

地域の文化を育む図書館

市川市の歴史・文化の保存と継承

具体的な施策

- ・地域行政資料の収集と整理
- ・市民の著作物（特別コレクション含む）の収集と整理
- ・地域行政情報のホームページからの発信

平成 23 年度～平成 25 年度の取り組み

地域行政資料の積極的収集／特別コレクションの新刊から古書までの積極的収集／県内の市町村史の積極的収集／渡邊二郎特別コレクション新設／HP「市川ゆかりの作家・文献検索のページ」に「渡邊二郎」追加／HP「市川ゆかりの人検索」「市川市に関連する作家追悼録」更新／著作権保護期間満了の市川市の地図の電子化及び館内パソコンでの閲覧及びプリントアウトサービス開始／住宅地図の欠年分を複製により所蔵

評価と今後の方向性

評 価	<input checked="" type="checkbox"/> 充分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>特別コレクションや市民文庫など、市川ならではの地域行政資料の収集や整理を図り、ホームページによる情報発信や資料の電子化などにも取り組んだ。引き続き、行政各部署や市民団体等と連携し、幅広く資料の収集を行い、市川市の歴史と文化の保存と継承に努めていく。</p>				

5

**連携や協働で多様なサービスを展開する図書館**

市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ

市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供

**具体的な施策**

- ・「市川図書館友の会」の研修会に図書館職員を講師として派遣
- ・障害者サービス団体への障害者向資料の作成依頼
- ・大学附属図書館への紹介状の発行

**平成 23 年度～平成 25 年度の取り組み**

市川図書館友の会と中央図書館・行徳図書館におけるリサイクルブック市共催／市川図書館友の会講座への講師派遣／図書館利用者アンケートの実施における市川図書館友の会との協働／行徳図書館「戦争と平和の講演会」における市民ボランティアとの連携／南行徳図書館に市民ボランティアによる生け花設置／障害者サービス関連ボランティアによる資料製作／千葉商科大学附属図書館の紹介状発行による利用登録や市立図書館の予約資料受取

**評価と今後の方向性**

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>ボランティアとの協働は今や図書館運営に欠かせないものとなっている。また、大学の所蔵する専門的な資料を市民が利用できるよう市内大学と連携を進めている。今後は関係機関やボランティアとの連携を密にし、課題解決に向けて図書館が広く活用されるよう更なるサービスを展開していく必要がある。</p>				

6

**まちづくりを支える図書館**

市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信

議会図書室との連携

**具体的な施策**

- ・行政各部署と連携した、地域や行政に関わる特集展示の実施
- ・地域行政資料の収集と整理
- ・議会図書室と連携した、議員の調査研究のサポート

**平成 23 年度～平成 25 年度の取り組み**

行政各部署と連携した特集展示の実施  
 (「涼」市川市節電避暑地キャンペーン／「景観」都市計画課連携／「地球温暖化と森の力」環境政策課連携／「歩く」市川市保健センター連携／「散策」観光交流推進課連携／「自立・参加・共生」障害者支援課連携／「動物と暮らす」動植物園連携／「国際キヌア年」国際連合食糧農業機関連携／「市川の文学・小説編」文学ミュージアム連携／「心の健康と自殺予防」市川市保健センター・千葉県市川健康福祉センター連携／「働くを考える」雇用労政課連携／「戦国武将・軍師から学ぶ」千葉県文書館連携 秋の歴史講座開催／「3年間を想う・東日本大震災」福島県立図書館・日本図書館協会連携)／議会図書室との連携開始

**評価と今後の方向性**

評価	<input type="checkbox"/> 充分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>特集展示で図書館資料と共に関連機関のリーフレットを配布するなどし、市民生活に必要な情報を提供できるよう努めた。行政各部署に依頼し、連携した特集展示を実施し、その回数を増やしてきたが、計画期間の後半では他部署から連携の依頼も来るようになった。今後は中央図書館だけでなく、地域図書館においても、地域の課題に応じた展示等による情報発信を広げたい。また、新たな事業として議会図書室との連携も開始することができた。</p>				